

 が ぎょうじよてい 10月の行事予定 						
にちようび 日曜日	げつようび 月曜日	かようび 火曜日	すいようび 水曜日	もくようび 木曜日	きんようび 金曜日	どようび 土曜日
			1 ・囲碁	2 ・貯筋体操 ・パソコン	3 ・卓球 ・囲碁	4
5	6 ・囲碁 ・やさしいリズム 体操 ・周辺地域巡回 事業	7 ・卓球	8 ・囲碁	9 ・ふれあい喫茶 ・パソコン	10 ・卓球 ・囲碁 ・各種相談日	11
12	13 スポーツの日	14 ・卓球	15 ・囲碁	16 ・貯筋体操 ・パソコン	17 ・卓球 ・囲碁	18
19	20 ・囲碁 ・やさしいリズム 体操	21 ・卓球	22 ・囲碁	23 ・貯筋体操 ・パソコン	24 ・卓球 ・囲碁	25
26	27 ・囲碁 ・やさしいリズム 体操	28 ・卓球	29 ・囲碁	30 ・貯筋体操 ・パソコン	31 ・卓球 ・囲碁	

あさひぶんかかいかん

朝日文化会館

かいかん

あさひぶんかかいかんれんらくさき

朝日文化会館連絡先

じゅうしょ

しこくちゅうおうししみしまあさひ

ちょうめ

ばん

ごう

住所：四国中央市三島朝日3丁目5番30号

TEL：0896-28-6070

FAX：0896-28-6104

会館だより

だいごうねんがっごう

第511号7年10月号



ふくおかけん

かいさい

福岡県で開催された

ぜんこくこうこうせいせいねんしゅうかい

「全国高校生青年集会」

さんか

に参加してきました。その

ば

かん

あつ

おも

つた

場で感じた熱い思いをお伝

えさせていただきます。

さべつ

あか

差別のない明る

みらい

てんぼう

い未来への展望

しん

しんけん

を信じて。真剣

とりくみ

ば

な取組の場だっ

たよ。



し

【お知らせ】

- ふれあい喫茶

(

きっさ

こんげつ

ここの

か

もくようび

)

予約締め切りは

10月7日まで。
- 各種相談日

10月10日

(

が

すい

)

10：00～

人権相談、生活相談、困っていること、何でも話に

来て

ください。
- 周辺地域巡回事業

10月6日

(

が

つ

むい

)

15：30～



こうこうせい ぶらくかいほううんどう 「高校生と部落解放運動」

～しろう・はじめよう・つながろう～

あさばん すこ あき おとす かん きせつ うつ か
朝晩、少しだけ秋の訪れが感じられるようになってきましたね。季節の移り変
わりの時期ですので、みなさん体調管理にお気をつけください。

わたし あさひぶんかいかんしゅじ やまうち れいわ ねん がつ か ぶくおかけん かいさい
私、朝日文化会館主事 山内は、令和7年8月23、24日、福岡県で開催さ
れた「全国高校生青年集会」に参加をしてきました。反戦、防災など計5つのテ
ーマごとに会場が分かれており、その中で「高校生と部落解放運動」をテーマと
して扱う会場に参加しました。広い会議室の中、100人ほどの高校生が全国
から集まり、愛媛県からも大勢の参加がありました。まずは簡単なゲームで交
流を行い、その後、3名の高校生たちによる発表がありました。内容はそれぞれ
「いじめ」、「部落差別」、「障がいによる偏見」と、すべて自身の経験を踏ま
えた内容のもので、それを受けて班別で意見を述べ合い、互いに学びを深めてい
くというものでした。多くの引率の先生方や保護者の方などが見守る中、会場は
熱気に包まれていました。

はっぴょう なか いんしょう のこ ことば 発表の中で印象に残った言葉たち



ちゅうがくせい とし しぶん はつげん たい はんのう ほか ひと はつげん
・「いじめ」：中学生の時、自分の発言に対するクラスの反応と、他の人の発言
に対する反応に違いがあることを担任の先生が指摘した際の言葉、「話を人で聞
いているのか、内容で聞いているのか」

ぶらくさべつ ちゅうがっこう む しぶん かた じゅぎょう
・「部落差別」：中学校ではクラスのみんなに向けて自分のことを語る授業が
あり、自分のこと、部落差別のことを知ってもらいたいとの思いから、被差別部
落出身であることを話そうと思い、覚悟を決めるつもりで「俺、明日一人で頑張
るわ。」とクラスの仲間たちに言った言葉に対して、「は?!ひとりじゃないば
い!俺たちがおる!」

しょう へんけん ちゅうがく ねんせい とし じ こしょうかい しぶん じ
・「障がいによる偏見」：中学2年生になった時、自己紹介ではなく、自分自
身を語ることからスタートした。入院中に同じ境遇の仲間と出会い、都道府県
を超えたつながりを持てたことに今のクラスを重ねると、「1つ部屋に縁があっ
て集められたことを考えたときに絶対に、このつながりを大切にしたいと思った。
」だから自身の障がいのことをみんなに話した。「つながるためには、ありのま
まの自分を伝え、本音で語り合うことだと思う。」



さべつ あか みらい いま せつ おも 差別のない明るい未来のために今、切に思うこと。

さべつ いま のこ しぶん ひと さいべつ
差別は今も残っています。それは、差別をする人がいるからです。なぜ差別を
するのでしょうか？人を見下し、心を傷付けることで、何が満たされるのでしょ
うか？私は、心の中の醜い部分は必ず瞳に現れると思っています。差別を
する人にはその瞬間、自身の目を鏡で見てほしいのです。その時のおぞましい
目を自分自身で確認してほしいのです。この場で出会えた高校生たちの真っ直ぐ
な目を思い出すと、強くそう思います。一人ひとりの背景はもちろん違いますが
、差別に苦しみ、自信も居場所もなかった。でも、自分を肯定してくれる仲間と
出会い、一歩を踏み出すことができた。そして仲間と一緒に踏み出した一歩の積
み重ねが、差別に立ち向かう強さと、人を傷つけない優しさを持った現在の彼ら
の心を育ててきたのだと思います。たとえ一人の一歩は小さくても、それを支え
る大勢の仲間による一歩の積み重ねは、必ず差別を根絶できる力になると私は
信じています。会の最後に、一人の高校生が残してくれた言葉があります。

きょう おな かいじょう おな はん ぐうぜん で あ あ きかい な
「今日、同じ会場、同じ班で偶然出会えたみんな。また会う機会は無いかもしれ
ない。だからこそ、今、この場にいる仲間たちとの出会いを大切にしたい。あり
がとう！」この子たちが積み上げてきた学びは本物です。この場で得た学びを
、感じた力を、これからの朝日文化会館の活動につなげていきますので、よろし
くお願いします。 朝日文化会館主事 山内 真吾